

図書館ボランティア通信

調布市立図書館

●Eメールによるお知らせを実施します

電子メールを利用して、図書館ボランティアの皆様と、より確実に情報のやりとりができるようにいたします。

開始日 平成24年9月上旬

対象者 図書館ボランティア登録者のうち、メールで情報の送受信を希望される方

内容 ・紙で配布していたボランティア通信を電子メールにて発信します。
・講演会の会場整理など、スポットボランティアの募集を発信します。
・ボランティア更新手続の連絡をメールで行います。
・図書館ボランティアの欠席の連絡をメールで受付します。
・図書館ボランティアに関する各種問合せをメールで受け付け、回答を返信いたします。

登録方法：◎下記アドレスまで、送信をお願いいたします。

tosyokan@w2.city.chofu.tokyo.jp

★希望の方は、8月20日までに送信をお願いいたします。

◎メールの表題に、必ず『【図書館ボランティア】メール連絡を希望します。』と入れて下さい。

◎メール本文には、お名前を入力して下さい。

★登録いただいた方に、9月上旬に登録確認メールをお送りいたします。

●映画資料整理ボランティア（1名）を募集します

日曜日の午前中に、文化会館たづくり7階のボランティアコーナーで、映画資料を整理してくださるボランティアを1名募集します。すでに活動されている方と2名で行います。パソコン入力作業はありません。ご応募をお待ちしております！

8月8日までにご連絡いただくと助かります。先着順の受け付けではありません。

応募者がいらっしゃらなかった場合は、ボランティアコーナーのコミュニケーションボードに引き続き、募集の掲示をしていますので、ご検討ください。

●第2回ボランティアミーティングのお知らせ

第2回のボランティアミーティングの日程が下記のとおり決まりましたので、ご承知おきください。詳しくはのちほどお知らせいたしますが、昨年実施したように、「図書館利用者懇談会」との同時開催します。ぜひ、皆様のご意見をお聞かせください。

○日時 11月15日(木) 午後2時～4時

○会場 文化会館たづくり6階 601・602会議室

●「図書館ボランティア書架整理のQ&A」を編集中

過去に書架整理をしている上での疑問・意見などをまとめましたが、現在の内容にあわない部分もありましたので、再度見直しを行っています。

23年度ボランティアミーティングで出たご意見

(抜粋)

1. ボランティアの活動は自由にしてよいと言われるが、職員の手が回りにくい業務をボランティアにどんどん頼んでほしい。

A ありがとうございます。ボランティアのみなさんのお力をいかせる仕事を各担当で考えてまいります。

2. 本の装備について、分館の蔵書では本の帯を見返しに貼っているが、経年とともに帯がはがれてくる。この部分に葉を挟む場合、帯に引っかかってしまう。そこで、装備の際はブッカー折り返しを見返し縁の部分数センチメートルにするのではなく、のどに近い部分までブッカーを貼ってはどうか。

A ブッカーをのどの近くまで貼ると、本の開きが悪くなるため、ブッカーの折り返しは最小限の位置としています。また本の帯は内容紹介に有効だとは思いますが、業務量の関係で中央図書館では貼り付けをしていません。現状維持となりますのでご理解ください。

3. ボランティアミーティングでの意見をEメール等で全ボランティアに事前に募り、ミーティング当日にその回答をすることで、出席できない人の意見も吸いあげるようにしてはどうか。

A Eメールによる連絡方法の開始に合わせて検討しています。

4. 宅配については、病院にサービスの周知ポスターを掲示してはどうか。せっかく始めた人がやめてしまわないように、宅配の需要を増大させ、ボランティアができる機会を増やすようにすることが必要と思う。

A これまで個人の宅配を受け入れてくれた病院を中心に、利用が見込める施設に対して、ポスター・チラシなどでのPRを考えています。下半期に実施予定です。

5. 気楽にボランティアをしようと思い参加したが、いざ始めると意外と義務や責任を負うことに戸惑い、当初のボランティアへのイメージと違うと感じ、やめてしまう人が多いように思う。それを防ぐためにも、最初から説明会でボランティアの義務・責任についても説明したほうがよいのではないか

A ボランティア説明会で、外部講師を招いてボランティアの意義や役割をおはなしいただいています。また、ボランティア活動の実際ということで、現在活動中の皆さんからお話いただいているのも、状況を知っていただく一助になっています。

6. ボランティアと職員の間で、気楽にコミュニケーションがあったほうがよい。特にボランティア担当以外の職員とは、ほとんど交流がないと感じる。

A ボランティア担当以外の職員はなかなか声を掛けられないようでしたが、ボランティアさんへ挨拶や作業中の声掛けは行うよう職員に伝えています。

☆これからも「ボランティア通信」でボランティアの皆さんのご意見にお答えしていきます。
